

平成 21 年 9 月 30 日

各 位

上場会社名 株式会社 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
代表者 取締役社長 畔柳 信雄
(コード番号 8306)

関係会社株式評価損の計上およびのれんの償却に関するお知らせ

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（以下 MUFG）単体決算において、平成 22 年 3 月期第 2 四半期に、関係会社株式のうち時価が著しく下落しているものについて減損処理による評価損を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また、これに伴い、MUFG 連結決算においては、当該関係会社に係るのれんについて一括償却を行う見込みとなりましたのでお知らせいたします。なお、単体決算で計上する上記関係会社株式評価損は、連結決算上は消去されます。

1. MUFG（単体）における関係会社株式評価損の内容

(A) MUFG における平成 22 年 3 月期第 2 四半期の関係会社株式の減損処理額（第 2 四半期累計と第 1 四半期累計との差額）	1,264 億円
(B) 平成 21 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	77,173 億円 (1.6%)
(C) 平成 21 年 3 月期の経常利益の額 (A/C×100)	2,443 億円 (51.7%)
(D) 平成 21 年 3 月期の当期純利益の額 (A/D×100)	2,999 億円 (42.1%)

四半期会計期間末における市場価格のある株式の減損処理にあたっては洗替え法を採用しており、平成 22 年 3 月期においては、その期末日の時価等により損失の計上額が変動する場合があります。

2. MUFG（連結）におけるのれんの一括償却の内容

上記関係会社株式の減損処理に伴い、MUFG 連結決算においては、当該関係会社に係るのれん 280 億円を一括償却する見込みです。なお、平成 22 年 3 月期においては、上記関係会社株式の減損処理の洗替えに伴い、のれんの一括償却についても見直しを行うため、償却額が変動する場合があります。

3. 今後の見通し

中間期の業績については、現在集計中です。

以 上

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものを参照ください。